

代表理事挨拶 安田尚道

「世のため、人のため」活動と本法人の役割

本法人が生活支援事業として学習支援活動を初めてから 4 年目に入り、病後児保育は 2 年が経とうとしています。これらの事業が継続し、しかも、多くの子どもたちを受け入れられるようになったのは、多くの市民の方々の協力を得られたことと日立市、土浦市をはじめとする行政の皆さまのおかげであると、感謝申し上げます。

一般的には、NPO 活動は「世のため、人のため」の活動であるといわれています。言い換えますと、企業などが有効需要（貨幣の裏付けのある需要）を目指して社会に必要なものを提供するのに対して、NPO は貨幣の裏付けのない一般的な需要をめざして必要なサービスを必要な人に提供する活動であります。しかも、行政とは異なり、企業活動と同様に、この活動には強制力はありません。したがって、学習支援活動も病後児保育も活動そのものの魅力がなければ、継続的に子どもたちは来てくれませんし、親御さんは病後の子どもたちを預けてくれません。何よりも、市民の方々が講師として保育士として看護師として協力してくれません。

私たちは市民の皆さまや行政の協力は企業と同様に、本法人のミッションと価値を伝える能力の質と社会的妥当性に依存すると思われまます。ですから、学習支援活動では講師の皆様、病後児保育では保育士や看護師の皆様が面白い、やってよかったと思われるような環境を作っていかななくてはならないと思います。これがまた講師や看護師、保育士の皆さまの力量を高め、生活支援事業の質と量が高まっていくことになると思います。

「世のため、人のため」の活動が自分のためになる。逆に言えば、自分のための行動が社会に貢献することとなる。このような関係づくりのために、本法人はますます精進していきたいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。

学習支援に関わって

多賀教室講師 荒川陽一

私が無料学習塾に関わった時期は、定年退職時です。仕事は続けたかったのですが、家庭の事情によりフルタイムの勤務は無理でした。生徒との縁が切れるのも寂しかったので、以前新聞に載っていた無料学習塾を思い出し、参加することにしました。

一年目、二年目の中学三年生は志望する高校への進学が決まりました。

小学年の児童は、一時間もすると飽きてしまい無駄話を始めたりします。そこで、九十分以上学習する児童には集中して学習することを条件に、休憩時間に図書館に行って気分転換を図っています。経済的に塾に通わせることが難しい家庭のお子さんを対象にしているのも、保護者の方も忙しく、家庭で保護者とじっくり学習する機会が少ないことが予想されます。一人ひとり個性が違うので、各自のペースに合わせて学習を進めていく必要があります。私は、児童生徒と学習内容を相談しながら学習を支援しています。一方的に課題を与えるのではなく、自分でも考えながら学習してほしいからです。また、教えすぎないようにしています。なるべく児童生徒の活動時間を多く取りたいと思っています。



学習支援をしていると、子どもたちがニコリ微笑んだり、「分かった」「分かりやすい」とつぶやくことがあります。そのようなとき、学習支援をして良かったと嬉しくなります。児童生徒の学習支援をしていると、自分でも気がつかないような考え方をしていることに気付かされます。また、いろいろな児童生徒の学習支援をすることにより、支援者自身が支援方法を考え学ぶ機会となります。

定年退職後、再就職をしていたら、学習支援に関わっていなかったかもしれません。再就職しなかったことで、新たな人との出会いや関わりも生まれました。不思議な縁を感じます。

公益財団法人JKA東日本大震災支援補助事業



いわき市在住の園児、その保護者を対象とした、放射能による親子のストレス軽減を支援するための遊び活動「子ども元気プロジェクト2017」を計5回開催いたしました。

震災より7年間、JKA 東日本大震災支援補助事業として様々なプロジェクトを実施いたしましたが、今年度をもちまして終了することになりました。長い間、たくさんの方にご協力いただき、大勢の子どもたちと触れ合うことができました、ありがとうございました。

7月2日(日)
常磐大学「水を使った遊び」



9月24日(日)
自然の中でバーベキュー!



1月28日(日)
会津自然の家「冬の学校」



学習支援事業

子ども食堂オープン!!

学習支援事業の一環として、with you 塾の塾生を対象とした子ども食堂「キッチン・さくらんぼ」をオープンします。

H30年4月17日より開始

- 毎月第4火曜日
(初回のみ第3火曜日)
- 17:00~19:00
- with you 塾生: 無料
- 大人: 300円
- 子ども(塾生以外): 100円



「さくらんぼキッズルーム」の二年間

保育者のひとこと

最初は月に数十名の預かりから始まり、ときには予約がない日もありました。今では月に100名を超すこともあります。お母さんと離れるときに泣いてしまう子には、笑顔で迎え子どもの気持ちに寄り添った声掛けをしています。保育の中では、ごっこ遊び・お絵かき・工作・絵本・ブロックなどの自由遊びを通して、子どもの自己表現や社会性など心身の成長の手助けができるよう接しています。

保育園に入園できない待機児童も増えているので、働いている方には「とても助かっています」などの声を頂き、私たちがやりがいを感じています。また、自分の都合に合わせて預けられるので、お子さんの行事や病院などでも利用されている方が多いです。その他、習い事やリフレッシュなど自分の時間を作るために利用されている方もいます。

病後児保育ではお子さんの体調をみながら、自由遊びをして安静に過ごしています。仕事を休めないお父さん、お母さんが安心して預けられるような場所にしていきたいです。少しでも仕事と子育ての両立をするための手助けができるよう頑張っていきたいです。

会員募集

- 正社員 個人 5,000円 団体 10,000円 学生 3,000円
- 賛助会員 個人 1口 5,000円を1口以上
団体 1口 10,000円を1口以上
- 情報会員 個人 3,000円 団体 5,000円
※詳細は事務局にお問い合わせください

編集後記

だんだん暖かくなってきましたね。桜も開花し、すっかり春本番です。花粉症の私には何かとつらい時期です…。【事務局】